

かっちゅう

甲冑 (よろいかぶと) って、  
どれくらいの重さがあるの？



甲冑は、身体をまもるための防具として身につけるもので、頭にかぶる「かぶと」と、身体にまとう「よろい」をあわせて「甲冑」と呼びます。

漢字で「かぶと」は冑・兜、「よろい」は甲・鎧などと書きます。野馬追の騎馬武者には欠かすことができない武具の一つです。

きんぱくおししほかわづみ  
金箔押皺革包

いよざねはなだいととしこしとり にまいどうくそく  
伊予札縹糸綴腰取二枚胴具足

江戸時代の中ごろ 兜銘「明珍吉次作」個人所蔵

鉄や革の部品を、糸や鎖でつなぎ合わせたり、布に縫いつけたりして作った甲冑です。全体に金箔を張り付けていて、とてもはなやかです。

兜の裏には、明珍吉次という甲冑を作った職人さんの名前（銘）が刻まれています。

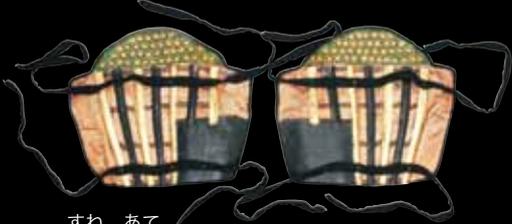
とても強そうに  
みえるね！



甲冑は、身体<sup>からだ</sup>の各部をまもる  
パーツごとに分かれています。  
一つ一つの重さを<sup>はか</sup>量ってみま  
しょう。



はい だて  
**佩楯**  
太もも～ひざをまもるもの  
0.8 キログラム



すね あて  
**膝当**  
すねをまもるもの  
両方で0.6 キログラム

どう  
**胴**  
胴体をまもるもの  
6.2 キログラム



かぶと  
**兜**  
頭をまもるもの  
2.7 キログラム



めん ぽお  
**面頬**  
顔をまもるもの  
0.4 キログラム



そで  
**袖**  
肩をまもるもの  
両方で0.8 キログラム



こ て  
**籠手**  
腕をまもるもの  
両方で1.4 キログラム



全部あわせると……

**12.9 キログラム！**

どうかな…？みんなが思っているより重かった？軽かった？  
ここで紹介した甲冑はあくまでも参考です。ひとくちに甲冑と  
言っても、いろんな材料で作られているんだ。重くてぶ厚い  
鉄板とか、軽い革<sup>かわ</sup>で作られたもの、変わったものでは紙を固め  
て作られたものもあるから、この甲冑より、重いのも軽いのも  
あるよ。

着<sup>き</sup>方が下手だと、重み<sup>かさ</sup>がずっしりと  
きて、肩が痛くなるけど、上手に着れ  
ばどこも痛くならないし、重みもそん  
なに感じないよ。

